

◆区長の基本姿勢について

「(仮称)第3次みどり風吹くまちビジョン」策定に向けた取組と区長の考えは。

「(仮称)第3次みどり風吹くまちビジョン」策定に向けた取組と区長の考えは。あらゆる分野で工夫を重ね、「練馬区モデル」を展開し、お約束した「改革ねりま第Ⅲ章」を必ず成し遂げる。

◆来年度予算編成と補正予算について

①来年度に向けて、どのような見直しを持ち、予算編成に取り組むのか。②区内中小企業や商店街等への支援を目的とする景気対策予算を含まれた補正予算への区への考えは。

①区財政の自由度は依然として低い。区民の命と健康を守る事業の推進を最優先とし、区民生活を支える上で必要な施策を確実に実行。②物価上昇の影響緩和のための緊急的対応や、区内中小企業への支援等、今年度三度目と

◆スポーツ振興について

①ポストコロナのスポーツ振興をどう考えるか。また、「(仮称)第3次みどりの風吹くまちビジョン」のスポーツ分野の所見は。②子どもたちが健康に過ごすためには、遊びや運動が不可欠。意欲的かつ意図的な取組を。③今年新たに開催する「ポッチャ交流大会」は、障害者が競技として楽しめる環境づくりを。また、将来の障害者スポーツ振興につながるよう取組を。

④「区民体育大会」は「区民スポーツ大会」に改称しては。⑤区民体育大会は人間が人間である証であり、私たちの存在を根拠で支えるもの。誰もがスポーツを楽しめるまちは、現実に向け、全力を尽くす。

◆教育長

①体力推進拠点校を指定、民間スポーツ事業者と連携した効果的な事業を研修

なる補正予算案を提案予定。◆区立施設のキャッシュレス決済について

①区立施設の使用料にキャッシュレス決済の早期導入を。②キャッシュレス決済の早期導入を。③これまでにデジタル技術活用を。◆区政改革

施設の特長や費用対効果等を踏まえ検討する。◆地区祭について

①今年度の開催状況は。

①プレミアム付商品券販売状況等は。②今年度も一度キャッシュレス決済ポイント還元事業実施を。③これまでにデジタル技術活用を。◆産業経済

①約9万5千組を販売、現在二次販売。②国等の動向を注視。③スマート商店街プロジェクト等を展開。

◆地区祭について

①今年度の開催状況は。

①プレミアム付商品券販売状況等は。②今年度も一度キャッシュレス決済ポイント還元事業実施を。③これまでにデジタル技術活用を。◆産業経済

①約9万5千組を販売、現在二次販売。②国等の動向を注視。③スマート商店街プロジェクト等を展開。

◆地区祭について

①今年度の開催状況は。

①プレミアム付商品券販売状況等は。②今年度も一度キャッシュレス決済ポイント還元事業実施を。③これまでにデジタル技術活用を。◆産業経済

①約9万5千組を販売、現在二次販売。②国等の動向を注視。③スマート商店街プロジェクト等を展開。

◆地区祭について

①今年度の開催状況は。

元気でにぎわいのある練馬区へ

練馬区議会自由民主党 小林 みつぐ

①実行委員会事務局がしっかりと進行管理できる体制の構築を。③上限までは全額補助金を支給できるように制度変更を。

◆地域文化

①23会場を実施等。②各地区の実情を伺い、区担当組織も含めて支援の在り方検討。③実態を踏まえ、事務の簡素化を含め、見直し検討。

◆商店街支援について

①小中学校体育館空調機の早期整備を。②中学校武道

は。資源・ごみ分別アプリを活用し、大災害に備え周知を。

◆副区長

①環境に配慮したライフスタイルの推進を取組の軸の一つに位置づけごみの発生抑制・再使用の促進を図る。

◆環境

②PR動画を作成、周知強化。回収拠点の増設検討。③回収体制や中間処理施設の

◆公園整備及び緑道の再整備について

①稲荷山公園整備の専門委員会構成と検討スケジュールは。②(仮称)田柄二丁目公園予定地の整備スケジュールは。幅広い観点での整備方針、計画を。③田柄川緑道再整備の区への考えや計画は。

◆都市整備

①高齢者等の移動手段としても期待。②自治会等や事業者と意見交換。将来の団地の在り方も検討。

◆区長の基本姿勢について

①区民の防災意識を低下させないためにも周知啓発の取組強化を。②聴覚障害者に情報が行き届くよう防災訓練の充実を。③防災活動に取り組み団体間のさらなる連携を。

◆区長

①引き続き、区民の防災意識向上に向け、周知に取り組む。区民の皆さん等と力を合わせ「災害に強い安全なまち練馬」の実現を目指す。

◆危機管理

②毎年、聴覚障害者団体と連携し訓練実施。団体の意見を他の避難拠点と共有し、支援の実効性を高める。③訓練を通じ、連携を強化。

経済対策で長引く物価高騰から区民を守れ!

練馬区議会公明党 吉田 ゆりこ

①本人や家族の意見を生かす施策等を。③意志決定の支援を。④新治療薬は医療機関等と連携し、万全な準備を。

◆中小企業支援について

①インボイスの相談窓口強化、セミナー継続を。②区

◆高齢者

①11種類のカラーリボンの意味やリボンにまつわる運動の周知を。②グリーンリボ

◆福祉

①今後も連携強化し、高齢者の就労機会の拡大に努める。◆産業経済

②引き続き、関係機関と連携し事業者支援。

◆区内経済について

消費喚起の観点で家計負担を軽減し、消費者支援効果が見込めるキャッシュレス決済ポイント還元事業の実施を。

◆孤独・孤立対策について

①孤独・孤立対策は地域や民間企業等との連携が不可欠。所見は。②練馬区地域福祉計画や社会福祉協議会の地

◆人生100年時代の就労環境の整備について

①ハローワークとの連携を強化し区内就労希望者に就業機会を増やす取組を。②シニアや女性・障害者等誰もが働けるような職場環境整備を。

◆高齢者の生活支援コーディネーター等について

①地域コミュニティに参加しやすいよう活動の場を増やし、高齢者とのマッチングを行うコーディネーター体制の強化を。②デジタル格差解消のためスマホ教室やスマホ相談員養成講座等の拡充を。

◆福祉

①生活支援コーディネーターが区内4か所を拠点に活動。より地域に密着して活動できるよう、計画の策定において検討。②今年度スマホ教室を大幅に充実。今後もデジタルを活用した高齢者の社会参加を促進。

◆小中学生に向けた体力づくりについて

①子どもの体力向上を目指し、教員の負担軽減にもつながる外部指導員の活用を。◆教育長

誰もが元気で、輝ける練馬へ!

練馬区議会都民ファーストの会・未来会議・国民民主党 西田 まさこ

域福祉活動計画に孤独・孤立対策をどう取り入れる考えか。

◆福祉

①区民や地域団体、事業者等との協働により対策を強化。②法の趣旨等を踏まえ、計画に盛り込む施策や取組について、社会福祉協議会と連携し、検討。

◆高齢者の生活支援コーディネーター等について

①地域コミュニティに参加しやすいよう活動の場を増やし、高齢者とのマッチングを行うコーディネーター体制の強化を。②デジタル格差解消のためスマホ教室やスマホ相談員養成講座等の拡充を。

◆福祉

①生活支援コーディネーターが区内4か所を拠点に活動。より地域に密着して活動できるよう、計画の策定において検討。②今年度スマホ教室を大幅に充実。今後もデジタルを活用した高齢者の社会参加を促進。

◆小中学生に向けた体力づくりについて

①子どもの体力向上を目指し、教員の負担軽減にもつながる外部指導員の活用を。◆教育長

民間事業者の協力を得て教室等開催。外部人材との連携事例紹介等、日常的な運動機会創出の取組を進める。

◆教育長

民間事業者の協力を得て教室等開催。外部人材との連携事例紹介等、日常的な運動機会創出の取組を進める。

◆教育長

民間事業者の協力を得て教室等開催。外部人材との連携事例紹介等、日常的な運動機会創出の取組を進める。

◆教育長

民間事業者の協力を得て教室等開催。外部人材との連携事例紹介等、日常的な運動機会創出の取組を進める。

◆教育長

民間事業者の協力を得て教室等開催。外部人材との連携事例紹介等、日常的な運動機会創出の取組を進める。

◆教育長

民間事業者の協力を得て教室等開催。外部人材との連携事例紹介等、日常的な運動機会創出の取組を進める。

一般質問(要約)

※アドバンスケアプランニング(ACP)：せしものときのために、医療やケアについて前もって考え、家族等や医療ケアチームと繰り返し話し合い共有する取組のこと。アドバンスリボン：様々な社会問題の理解や支援の意思を示すためのシンボルマーク。輪を作った短いリボンの形で、特定の色によるその内容を表す。代表的なものとしてレッド(エイズ)、ピンク(乳がん)、グリーン(リボン)「移植医療」パープル(リボン)「女性に対する暴力根絶」オレンジ(リボン)「児童虐待防止」

◆区長の基本姿勢について

①練馬区モデルを展開し、ブランドデザイン構想実現に向け事業実施を。また本物のアートと本に出会える施設整備を。②物価高対策を。キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施を。③商店街のデジタル化推進を。

◆スポーツ振興について

①構想で示す将来像の実現に向け着実に区政を運営。文化芸術の振興にも力を尽くし、新しい発想による美術館のリニューアル等に取り組んできた。②引き続き、区民生活を支える必要な施策を実行。③来年度もデジタル化セミナーを実施予定。

◆中小企業支援について

①インボイスの相談窓口強化、セミナー継続を。②区

◆高齢者

①11種類のカラーリボンの意味やリボンにまつわる運動の周知を。②グリーンリボ

◆福祉

①今後も連携強化し、高齢者の就労機会の拡大に努める。◆産業経済

②引き続き、関係機関と連携し事業者支援。

◆区内経済について

消費喚起の観点で家計負担を軽減し、消費者支援効果が見込めるキャッシュレス決済ポイント還元事業の実施を。

◆孤独・孤立対策について

①孤独・孤立対策は地域や民間企業等との連携が不可欠。所見は。②練馬区地域福祉計画や社会福祉協議会の地

◆人生100年時代の就労環境の整備について

①ハローワークとの連携を強化し区内就労希望者に就業機会を増やす取組を。②シニアや女性・障害者等誰もが働けるような職場環境整備を。

◆高齢者の生活支援コーディネーター等について

①地域コミュニティに参加しやすいよう活動の場を増やし、高齢者とのマッチングを行うコーディネーター体制の強化を。②デジタル格差解消のためスマホ教室やスマホ相談員養成講座等の拡充を。

◆福祉

①生活支援コーディネーターが区内4か所を拠点に活動。より地域に密着して活動できるよう、計画の策定において検討。②今年度スマホ教室を大幅に充実。今後もデジタルを活用した高齢者の社会参加を促進。

◆小中学生に向けた体力づくりについて

①子どもの体力向上を目指し、教員の負担軽減にもつながる外部指導員の活用を。◆教育長

民間事業者の協力を得て教室等開催。外部人材との連携事例紹介等、日常的な運動機会創出の取組を進める。

◆教育長

民間事業者の協力を得て教室等開催。外部人材との連携事例紹介等、日常的な運動機会創出の取組を進める。

◆教育長

民間事業者の協力を得て教室等開催。外部人材との連携事例紹介等、日常的な運動機会創出の取組を進める。



◆区長の基本姿勢について

問 ①文化芸術施策を推進していくべき。区長の考えと今後の展開は。②名誉区民の野見山晴治氏が残した作品や思想をどのように生かし、その遺志をどう継承していくのか。

◆立美術館再整備について

問 ①敷地面積の拡充と再整備の必要性についての所見は。②物価の上昇も考慮し、当初の予算案の範囲内で工事を進めるための工夫や取組は。③維持・改修コスト等経済的側面を計算に入れ持続可能な計画の策定を。④ワークショップでの区民からの要望は。今後、新しい意見等を取り入れ

◆物価高騰対策とインボイス制度について

問 ①区内事業者を対象に給付金や設備老朽化への支援を。②公共事業における区内事業者の受注確保拡大の対策を。③インボイスの中止と消費税の引下げを国に求めよ。

◆産業界について

問 ①物価上昇の影響を緩和するための緊急的な対応等として今年度三度目の補正予算案を提案予定。②区内事業者育成や担い手確保等の観点から優先発注に取り組み。③産業界について

◆歴史認識について

問 区は、植民地支配について、答弁を訂正したが、植民地支配と侵略を認め、心からのお詫びを表明した村山談話を認めないということか。区として歴史の改ざんの議論に対して反対の意思を示すべき。総務 当初の説明は歴史認識

◆地域文化

問 ①現美術館はスペースが不足し展示・収蔵環境やバリアフリー等多くの課題を抱え改修では十分な対応ができないため改築とした。②工法等の工夫・精査で建築・ランニングコスト低減に努める。③最適な運営形態を整備

◆生成AIの活用について

問 区はこの技術をどう捉え、どう取り組むのか。行政計画、議会答弁、学校教育現場への活用の考えは。企画 事務作業効率化等は可能だが情報

◆待機児について

問 ①食原保育園と新園の併存を。②きょうだいで同じ保育園を希望しながら入れない状況等の改善は区の役割では。ねりっこクラブ開設にあたっては地域の希望者数に見合った受け入れ枠を確保した上で、

◆みどりバスについて

問 ①増便した場合の経費を。②30分に1便の運行と

◆防災について

問 ①道路拡幅整備は地権者が生活再建できる補償を。②行政と住民との合意形成の場を継続的にもち、徹底した情報公開を。③耐震化促進事業助成制度の対象を2000年以前の建物に広げよ。④リフォーム助成制度を設け、耐震化の促進を。⑤補助等で感震ブレイカー設置促進と新築への設置義務化を行え。

未来への投資として、文化・芸術の推進を。

練馬区議会立憲民主党 富田 けんじ

子どもを受け入れる体制を強化すべき。

つ子どもを受け入れる体制を強化すべき。③スクールサポートスタッフ増員を。④部活動の地域移行の推進を。⑤学校生活支援員の増員を。⑥会計年度任用職員として働く学校生活支援員の処遇改善と任用回数の上限撤廃を。⑦水泳授業の校外化について所見は。

◆子育て・教育施策について

問 ①夏季の公園遊具の熱対策として、遊具の材質変更の検討や火傷の危険性の注意喚起等の実施は。②都が開始する、親の仕事の有無にかかわらず子どもの預かりを担う事業に参加し、多様な背景を持つ

◆都市整備

問 ①見通しが立った段階で検討。②運転手確保等の課題から実現に至っていない。③既に協議。現段階では困難。④十分な歩道の幅員が必要。設置が可能な場合は整

◆危険管理

問 ①道路拡幅整備は地権者が生活再建できる補償を。②行政と住民との合意形成の場を継続的にもち、徹底した情報公開を。③耐震化促進事業助成制度の対象を2000年以前の建物に広げよ。④リフォーム助成制度を設け、耐震化の促進を。⑤補助等で感震ブレイカー設置促進と新築への設置義務化を行え。

◆危険管理

問 ①道路拡幅整備は地権者が生活再建できる補償を。②行政と住民との合意形成の場を継続的にもち、徹底した情報公開を。③耐震化促進事業助成制度の対象を2000年以前の建物に広げよ。④リフォーム助成制度を設け、耐震化の促進を。⑤補助等で感震ブレイカー設置促進と新築への設置義務化を行え。

一般質問 (要約)

◆経済対策について

問 ①区内事業者の現状を把握し、寄り添ったきめ細かな支援を。②緊急経営支援特別貸付の融資延長を。副区長 ①本年6月のアンケートで材料費高騰等の経営上の課題が明らかになった。総合相談体制強化のため中小企業診断士を増員等。②受付期間を今年度末まで延長予定。

◆区内周遊ツアーについて

問 ①ワーナーブラザーズを含め地域での連携強化と地域経済活性化につながる施策を。②ツアーの申込状況や参加者の傾向等は。ツアーへの呼び込み強化を図るべき。所見は。副区長 ①地元商店会等と連携し「豊島園通りの歩き方」

◆治水計画の推進について

問 ①調節池の一日も早い整備完了を。②雨水流出抑制施設の整備の加速を。戸建て住宅に設置された施設の管理は区民の協力が不可欠。所見は。副区長 ①早期整備等を都に要請。②浸透ます等を設置し、目標達成に向け流域対策を推進。土木 施設所有者が適切に維持管理を行えるよう、周知に取り組む。③土のう積み等、より実践的な訓練を実施し、地域防災力向上に努める。

◆熱中症対策について

問 ①クーリングシェルターの指定施設を拡大し、分かりやすい表記を。②夏休み期間の小学校体育館の有効活用を。

◆公共施設の脱炭素の取組について

問 ①新設・改築する施設のZEB化の取組を。区を代表するような施設のZEB認証取得を。②区立施設で友好都市の上田市産の木材活用を。環境 ①新築・改築する施設は原則として一次エネルギー消費量の30〜50%以上削減を。②他区の情報収集。

◆高齢者支援について

問 ①eスポーツの体験会実施を。②成年後見制度申立費用の助成制度を。家族信託の周知を。③グリーンズローモビリティ導入に向け取組を。副区長 ①地域との協働による取組はメディアでも大きく取り上げられた。プレスツアーは今年度中に実施予定。引き続き民間事業者との連携強化メニューの充実を図る。企画 ②都の動向を注視し、検討。③区内全バス路線の運行情報、運行情報サービスの周知を。都市整備 バス事業者と協議。利用方法について区のホームページやSNS等で周知。

◆子育て支援について

問 ①母子支援として産後ケア施設の拡充を。②子育てスタート応援券のメニューの中に産後ドゥーラ事業の導入を。健康 ①現在7か所に拡充。さらなる拡充を検討。教育長 ②他区の情報収集。

◆観光施策について

問 ①メディアやインフルエンサーを招待し、区内周遊ツアーを体験するプレスツアー

◆防災まちづくりについて

問 ①富士見台三・四丁目環八南地区の都市計画が決定。残りの地区もまちづくり推進を。②区民協働で富士見台一丁目公園用地の整備内容の検討と早期着手を。③危険性の高い地区等に、引き続き、ブロッケン撤去費用の助成を。都市整備 ①地域の意見を聞き順次検討し、まちづくりを推進。②都市計画決定し、事業認可を取得後、計画内容を検討。地域の意見を聞き、取り組む。危険管理 ③検討。

◆農と食育推進について

問 ①学校等に15名受け入れ、看護師を配置等。②研修参加を促進等。福祉 ①多くの多い成人の受入れ協議。他の医療機関でも取り組む。

区民に寄り添ったきめ細かな支援の充実を！

練馬区議会自由民主党 笠原 とせひ

◆高齢者施策と終活について

問 ①8050問題等様々な課題を抱える世帯への支援は。地域で活動する団体とも連携し進めていくことが必要。所見は。②終活に関する窓口を設置し、相談体制の整備を。副区長 ①住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができれば、地域包括ケアシステム

◆高年齢者住宅生活あんしん事業の緊急通報システムに室内での熱中症予防対策の導入を。

問 ①来年度から民間施設等も指定できるように取り組む。分りやすく案内。教育長 ①eスポーツの体験会実施、世代間交流のため大会開催を。②成年後見制度申立費用の助成制度を。家族信託の周知を。③グリーンズローモビリティ導入に向け取組を。副区長 ①地域との協働による取組はメディアでも大きく取り上げられた。プレスツアーは今年度中に実施予定。引き続き民間事業者との連携強化メニューの充実を図る。企画 ②都の動向を注視し、検討。③区内全バス路線の運行情報、運行情報サービスの周知を。都市整備 バス事業者と協議。利用方法について区のホームページやSNS等で周知。

◆子育て支援について

問 ①母子支援として産後ケア施設の拡充を。②子育てスタート応援券のメニューの中に産後ドゥーラ事業の導入を。健康 ①現在7か所に拡充。さらなる拡充を検討。教育長 ②他区の情報収集。

◆観光施策について

問 ①メディアやインフルエンサーを招待し、区内周遊ツアーを体験するプレスツアー

人と環境にやさしい住みやすい街ねりまへ！

練馬区議会公明党 佐藤 じゅんや

◆公共施設の脱炭素の取組について

問 ①新設・改築する施設のZEB化の取組を。区を代表するような施設のZEB認証取得を。②区立施設で友好都市の上田市産の木材活用を。環境 ①新築・改築する施設は原則として一次エネルギー消費量の30〜50%以上削減を。②他区の情報収集。

◆高松みらいのはたけの取組状況は。

問 ①高松みらいのはたけの取組状況は。②農業生産者や食育応援店と区が連携することで練馬ならではの食育推進につながることを考える。所見は。産業経済 ①収穫体験や旬の時期を知る試食会等を開催。②今後も取組を充実し農業者等と連携し、食育を推進。

◆防災まちづくりについて

問 ①富士見台三・四丁目環八南地区の都市計画が決定。残りの地区もまちづくり推進を。②区民協働で富士見台一丁目公園用地の整備内容の検討と早期着手を。③危険性の高い地区等に、引き続き、ブロッケン撤去費用の助成を。都市整備 ①地域の意見を聞き順次検討し、まちづくりを推進。②都市計画決定し、事業認可を取得後、計画内容を検討。地域の意見を聞き、取り組む。危険管理 ③検討。

◆農と食育推進について

問 ①学校等に15名受け入れ、看護師を配置等。②研修参加を促進等。福祉 ①多くの多い成人の受入れ協議。他の医療機関でも取り組む。

◆高年齢者住宅生活あんしん事業の緊急通報システムに室内での熱中症予防対策の導入を。

問 ①来年度から民間施設等も指定できるように取り組む。分りやすく案内。教育長 ①eスポーツの体験会実施、世代間交流のため大会開催を。②成年後見制度申立費用の助成制度を。家族信託の周知を。③グリーンズローモビリティ導入に向け取組を。副区長 ①地域との協働による取組はメディアでも大きく取り上げられた。プレスツアーは今年度中に実施予定。引き続き民間事業者との連携強化メニューの充実を図る。企画 ②都の動向を注視し、検討。③区内全バス路線の運行情報、運行情報サービスの周知を。都市整備 バス事業者と協議。利用方法について区のホームページやSNS等で周知。

◆子育て支援について

問 ①母子支援として産後ケア施設の拡充を。②子育てスタート応援券のメニューの中に産後ドゥーラ事業の導入を。健康 ①現在7か所に拡充。さらなる拡充を検討。教育長 ②他区の情報収集。



◆インバウンドの取組について

問 インバウンド向け区内周遊ツアー実施を。また、スタジオツアー東京のチケットを販売している海外代理店と連携し、海外から区内周遊ツアーの申込みができる環境を。

区長 引き続き民間事業者との連携を強化し、ツアーメニューの充実を図る。産業経済

◆町のデジタル活用について

問 ①町会・自治会のデジタル活用が持続可能なものになるよう支援を。②オンライン上での加入案内に注力することでマンション居住者等への周知の促進が期待。積極的に支援を。③デジタル活用講習会で町会・自治会が区とともに前進していけるよう支援を。

◆ウェルビーイングを活用した練馬区の政策について

問 ウェルビーイングの視点を取り入れKPIを設定し、区民が満たされた状態になり、幸福を感じられる政策についての考えは。今後の施策にウェルビーイングを取り入れる考えは。

◆地域文化について

問 ①各町会・自治会に合った活用の仕方を提案する等きめ細かな支援に努める。②SNSを活用する等、先進的な取組をまとめた練馬区町会・自治会デジタル活用事例集を作成。全町会・自治会に配布し、講習会でも活用。

◆熱中症対策について

問 ①学校のプール授業や運動場に日陰の確保を。気化熱を活用したスプリンクラーや大型扇風機の設置を。②農作業における熱中症対策支援を。③学校のプールは実施事例等を紹介する等、状況に合わせた対応ができるよう支援。屋外スポーツ施設はミストシャワーや日よけテント

◆産業経済について

問 ①学校のプール授業や運動場に日陰の確保を。気化熱を活用したスプリンクラーや大型扇風機の設置を。②農作業における熱中症対策支援を。③学校のプールは実施事例等を紹介する等、状況に合わせた対応ができるよう支援。屋外スポーツ施設はミストシャワーや日よけテント

◆ひとり親家庭支援について

問 ①区内事業所への就労につながる支援の強化を。②ひとり親家庭をサポートガイドリーフレットは高等職業訓練等給付金等の記載内容の工夫を。③ひとり親家庭ホームヘルプサービスにおける家事支援は、より利用しやすくなるよう制度の見直しを。

◆福祉について

問 ①総合相談窓口の相談員が区内企業の就職面接会につなげるよう支援。②適宜見直す。③本事業は就労や疾病で育児に支障がある方の支援が目的。

◆マイナ保険証について

問 ①マイナ保険証の機器やシステム導入等にかかる負担が及ぼす地域医療への影響を調査せよ。②医療機関の窓口事務職員にも個人情報を見られてしまうのは問題ではないか。③紙の保険証廃止をやめるよう政府に意見を挙げよ。

◆区民について

問 ①区として医療機関等の調査を実施する考えはない。②健康保険証利用以外の情報は閲覧できない。個人情報保護法は各機関等において適正な運用が図られているものと認識。③考えはない。

◆フランスジェンダーの生きづらさについて

問 ①トイレ等女性スペースが脅かされるとの誤解や、意図的に問題をすり替え、差別等が踏まえ、引き続き研究。

◆「気候危機」に向けた区の取組について

問 ①区のCO2削減目標は、都府と比べ大きく後れを取っている。目標の引上げを。②練馬が丘病院やスタジオツアー東京で再生可能エネルギー利用設備の設置がゼロなのはなぜか。③清掃工場からのCO2排出削減に向け区として積極的、計画的な取組を。④区内の樹木地全体のCO2吸収量と、この5年間に失われた吸収量の推計は。⑤緑の状況と保全の目標を計画の中に位置づけよ。

◆介護保険の生活援助について

問 ①同居家族がいる場合、生活援助の利用は原則として認められないと区が示す根拠は。②疾患の急性増悪時や終末期等家族の精神的な負担や不安がピークに達する時期に

◆都市整備について

問 ①事業計画によると再開発ビルは高さ100m、高層部分の幅が43m。駅西口正面横は、すぐそこに高層階の壁。これだけ圧迫感のある建築物は駅前にふさわしいか。②今回の再開発は公共駐輪・駐車場もなし。区民にとってどのようなメリット、必要性があるか。③再開発ビルに区の施設を入

◆環境について

問 ①区の目標は国の国際公約と整合。目標達成、2050年のゼロカーボンシティ実現に向け取り組む。②どのような環境配慮設備を導入す

◆高年齢者増加のための動機づけについて

問 ①イベントに行きたいと思える内容・広報が大切。所見は。②身近な場所に街かどケアカフェ等と同じ機能を。

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

◆ヘルスリテラシー向上について

問 ①女性のライフステージにおける健康課題の理解促進

一般質問(要約)

PFAS:有機フッ素化合物の総称。環境中で分解されにくく、高い蓄積性がある。

7:ウェルビーイング(Welbeing)・・・身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること

8:KPI:Key Performance Indicator]略。施策の進捗状況を検証するために設定する指標

9:PFAS:有機フッ素化合物の総称。環境中で分解されにくく、高い蓄積性がある。

10:PFAS:有機フッ素化合物の総称。環境中で分解されにくく、高い蓄積性がある。

11:PFAS:有機フッ素化合物の総称。環境中で分解されにくく、高い蓄積性がある。

12:PFAS:有機フッ素化合物の総称。環境中で分解されにくく、高い蓄積性がある。

13:PFAS:有機フッ素化合物の総称。環境中で分解されにくく、高い蓄積性がある。

14:PFAS:有機フッ素化合物の総称。環境中で分解されにくく、高い蓄積性がある。